



インテル® C++ コンパイラー Android* 向け 優れたアプリ・パフォーマンス

Dalvik* で Android* アプリ開発要件を満たしている場合は、そのまま使用することをお勧めします。しかし、Android* NDK を使って C/C++ でコーディングしている場合は、インテル® C++ コンパイラー Android* 向けを利用することで、長年にわたりインテル® アーキテクチャー向けにハイパフォーマンスなコンパイラーを提供してきたインテルの経験を活かすことができます。

インテル® C++ コンパイラーを使用する理由

既存のコードを別の言語で書き直したくない場合や特別なパフォーマンス要件がある場合など、C/C++ を使用することがあるでしょう。インテル® C++ コンパイラーを使うことでパフォーマンスの利点が得られる例として、より滑らかなユーザー・エクスペリエンスが求められるアプリやバッテリー寿命を延ばすためにより高速に実行したいアプリ、あるいは理論速度によってその恩恵を受けるアプリなどが挙げられます。

インテル® C++ コンパイラーは、アプリケーションのパフォーマンスを向上することに重点が置かれ、インテル® Cilk™ Plus やガイド付き自動並列化といった、ハイパフォーマンスなソフトウェアの開発を支援するさまざまなベクトル化機能を備えています。また、Android* NDK の GNU* C++ コンパイラーと互換性もあります。つまり、既存のソースコードをインテル® C++ コンパイラーでビルドして、インテルおよびその他のアーキテクチャーをサポートすることができます。また、使い慣れた Android* NDK のコマンドライン・ツール (デバッガーなど) を引き続き使用できるため、生産性を維持します。さらに、インテル® C++ コンパイラー・フォーラムと Android* アプリケーション・フォーラムから、サポートや最新の動向、アプリケーション開発のヒントな

どが得られます。フォーラムは誰でも利用可能で、世界中のインテルの専門家からサポートやアドバイスが提供されます。

パフォーマンス、互換性、サポートを備えたインテル® C++ コンパイラーは、強力かつ生産性の高いツールです。ぜひ評価版をダウンロードしてお試してください。インテル® C++ コンパイラー Android* 向けは、Windows* 版、OS X* 版、Linux* 版が用意されています。

主な機能

- アプリケーションのパフォーマンスを向上
- gcc* および Android* NDK との互換性
- Eclipse* IDE サポート
- コミュニティ・サポート
- Windows*、OS X*、Linux* ホスト環境で利用可能
- インテル® プロセッサー・ベースの Android* (Jelly Bean*) デバイスをサポート

テイク・コンフォート - コードと開発環境に互換性のあるインテル® C++ コンパイラー

インテル® C++ コンパイラーは、Android® NDK の GNU® C++ コンパイラーおよびその他のツールと互換性があり、Windows®, OS X®, Linux® ホスト開発システムで利用できます。つまり、C/C++ ソースコードへの投資、作業方法、生産性が維持されます。また、インテル® アーキテクチャーおよびその他のアーキテクチャー (ARM® など) ベースの Android® デバイス向けに、アプリケーションを簡単にビルドすることができます。さらに、開発者のコミュニティに参加して、インテル® C++ コンパイラー・フォーラムと Android® アプリケーション・フォーラムで開発者たちと体験を共有できます。

テイク・アドバンテージ - 簡単に使用できるパフォーマンス機能を提供するインテル® C++ コンパイラー

インテル® C++ コンパイラーは、優れたアプリケーション・パフォーマンスを実現します。場合によっては、再コンパイルするだけでパフォーマンスが向上することもあります。これは、インテル® C++ コンパイラーのプロシージャー間の最適化 (IPO) 機能により、ソースコードを変更しなくてもパフォーマンスを向上できる可能性があるためです。また、インテル® C++ コンパイラーに含まれるインテル® Cilk™ Plus は、#pragma SIMD と配列表記によりコードのベクトル化を合理化し、シンプルなキーワードによりコードの並列化を容易にします。さらに、インテル® C++ コンパイラーを使用することで、これまで個別に行ってきたベクトル化、並列化、ループ変換を、高速かつ効率良く、信頼性の高い 1 つのパスに統合するハイパフォーマンス並列最適化機構 (HPO) などの実績ある機能を Android® ソフトウェア開発でも利用できます。インテルの開発ツールは最高レベルのパフォーマンスを実現します。

テイク・パート - インテルが提供する可搬性のあるソフトウェア開発ツール

開発ツールに関して、開発者は幅広い選択肢を求めています。Android® SDK と NDK に含まれるツールに加えて、インテルは Beacon Mountain (開発コード名) を提供しています。Beacon Mountain には、インテル® Atom™ プロセッサまたは ARM® プロセッサを搭載した Android® デバイスで実行するアプリケーションの設計、コーディング、デバッグを支援するインテルとサードパーティーのツールがまとめられています。また、HTML5 開発向けのインテル® XDK もあります。開発、エミュレーション、テストオンデバイスを支援する各種機能により、クロスプラットフォーム HTML5 アプリの開発を効率良く行えます。

評価版の提供 - インテル® C++ コンパイラーがアプリケーション・パフォーマンスの向上をどのように支援するかをぜひお試しください!

インテル® C++ コンパイラー Android® 向けの評価版は、software.intel.com/c-compiler-android からご利用になれます。本製品で開発を行う場合、インテル® Core™ プロセッサ、インテル® Xeon® プロセッサ、または互換プロセッサを搭載した Windows® 7、Windows® 8、Apple® OS X® 10.4.8 以降、Ubuntu® 8.04 以降、あるいは glibc 2.7 以降の Linux® システム、および Android® NDK r9 がが必要です。ターゲット Android® デバイスは、Android® Jelly Bean® を搭載したインテル® Atom™ プロセッサまたはインテル® Core™ プロセッサ・ベースのシステムでなければなりません。詳細は、評価版ダウンロード・サイトにあるリリースノートを参照してください。

インテル® C++ コンパイラー Android® 向け日本語最新情報:
<http://www.isus.jp/article/idz/android/c-compiler-android/>

コミュニティ:

インテル® C++ コンパイラー・フォーラム (英語): software.intel.com/forums/intel-c-compiler
インテル® アーキテクチャー・ベースの Android® アプリケーション・フォーラム (英語): software.intel.com/forums/android-applications-on-intel-architecture

コンパイラーの最適化に関する詳細は、<http://software.intel.com/en-us/articles/optimization-notice#opt-jp> を参照してください。

本資料に掲載されている情報は、インテル製品の概要説明を目的としたものです。本資料は、明示されているか否かにかかわらず、また禁反言によるとらざらざるにかかわらず、いかなる知的財産権のライセンスも許諾するものではありません。製品に付属の売買契約書『Intel's Terms and Conditions of Sale』に規定されている場合を除き、インテルはいかなる責任を負うものではなく、またインテル製品の販売や使用に関する明示または黙示の保証 (特定目的への適合性、高適合性、あらゆる特許権、著作権、その他知的財産権の非侵害性への保証を含む) に関してもいかなる責任も負いません。

「ミッション・クリティカルなアプリケーション」とは、インテル製品がその欠陥や故障によって、直接的または間接的に人身傷害や死亡事故が発生するようなアプリケーションを指します。そのようなミッション・クリティカルなアプリケーションのためにインテル製品を購入または使用する場合は、直接的か間接的にかかわらず、あるいはインテル製品やそのいかなる部分の設計、製造、警告にインテルまたは委託業者の過失があったかどうかにかかわらず、製造物責任、人身傷害や死亡の請求を起因とするすべての賠償請求費用、損害、費用、合理的な弁護士費用をすべて補償し、インテルおよびその子会社、委託業者および関連会社、およびそれらの役員、経営幹部、従業員に何らの損害も与えないことに同意するものとします。

インテル製品は、予告なく仕様や説明が変更される場合があります。機能または命令の一覧で「留保」または「未定義」と記されているものがありますが、その「機能が存在しない」あるいは「性質が留保付である」という状態を設計の前提にしないでください。これらの項目は、インテルが将来のために留保しているものです。インテルが将来これらの項目を定義したことにより、衝突が生じたり互換性が失われたりしても、インテルは一切責任を負いません。この情報は予告なく変更されることがあります。この情報に基づいて設計を最終的なものとししないでください。

本書で説明されている製品には、エラッタと呼ばれる設計上の不具合が含まれている可能性があり、公表されている仕様とは異なる動作をする場合があります。現在確認済みのエラッタについては、インテルまでお問い合わせください。

性能に関するテストに使用されるソフトウェアとワークロードは、性能がインテル® マイクロプロセッサ用に最適化されていることがあります。SYSmark® や MobileMark® などの性能テストは、特定のコンピューター・システム、コンポーネント、ソフトウェア、操作、機能に基づいて行ったものです。結果はこれらの要因によって異なります。製品の購入を検討される場合は、他の製品と組み合わせた場合の本製品の性能など、ほかの情報や性能テストも参考にして、パフォーマンスを総合的に評価することをお勧めします。

© 2013 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。Intel、インテル、Intel ロゴ、Look Inside、Look Inside ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Xeon、Cilk は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

Android は、Google, Inc. の商標です。

* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

JPN/1311/PDF/XL/SSG/KS

Please Recycle

329726-001US

